令和８年１１月１３日
鹿児島海上保安部
午前１０時００分発表

～鹿児島海上保安部
巡視船かんばいスタンプコンテスト～

鹿児島海上保安部では、海上保安庁の認知度向上及び職員募集の一助となることを願い、所属の大型巡視船「かんばい」をモチーフとしたスタンプを作成することとし、**赤塚学園美容・デザイン専門学校デザイン科**の皆様に別紙のとおりデザインの案を作成していただきました。
最終的には一般の方々の投票により、得票数が最多のデザインをスタンプとして作成しますので、皆様のご投票をお待ちしております。
【投票期間：令和8年11月13日1200～令和8年11月30日1200まで】

巡視船かんばい



皆様のご投票をお待ちしております。

問い合わせ先：鹿児島海上保安部
担当：管理課　花田
電話：０９９－２２２－６６８０

令和８年１１月１３日
鹿児島海上保安部
午前１０時００分発表

案①



「梅薫る波路」

鹿児島海上保安部の巡視船「かんばい」の実物そのままの重厚なシルエットと、和の「梅の花」を融合させたデザインです。
デフォルメを避け精密差を引き立てつつ、梅や波文様を散りばめて華やかさをプラスしました。余白を残すことで画面を引き締め、寒梅らしい凛とした気品と美しさを表現しました。

案②



凌波

困難に屈する事なく荒波を乗り越え、助けを求める人々のもとへ向かう凛とした強い意思を表現しました。外側の丸線から飛び出すように船を描いてかんばいの大きさと迫力を出して、名前の由来になっている寒梅の梅の花を文字の下に配置しました。

案③



船を大きく見せて存在感を与え見守られているような安心感と共に威厳を感じさせるようにしました。
また日の出を取り入れることによって日本の日の丸を連想させました。
また船を反転させ、歪ませることで、水面に写っているのを表現しました。

案④



由来となっている『寒梅』を主として制作しました。
また船体が大きいと言うところから、桜島との対比でさらにその大きさを目立たせました。
寒梅モチーフの梅やヘリコプターも描くことでかんばいらしさをアピールし、桜島や波でかんばいの大きさや迫力を表現しました。

案⑤



試練を耐え抜き、日本の海を守る船『かんばい』
西郷隆盛の漢詩の一節にある「雪に耐えて梅花麗し」の
“雪に耐える”を雪の結晶で表現し
その雪の結晶を突破する船を表現しました。

案⑥



コンセプト
「乗り越える強さ」
かんばいの由来である冬の季語の「寒梅」と、西郷さんの漢詩の一節に共通する「梅」と「寒さ」をイメージし、梅の花と波立つ海をデザインしました。また、波を受けて船体が斜めになっても力強く進む船をイメージし、その姿をロゴ内に大きく配置しました。

案⑦



このデザインのコンセプトは「力強さの中の優しさ」です。
かんばいの名前の由来である寒梅から、国民の笑顔のため動く寛大さと、苦難や試練に耐え乗り越えていく大きく逞しい船体を表現しました。
少し優しい印象にしたかった為、ストライプを使用しています。
そして、波にしなやかな曲線を使用することで船体の硬い質感や力強さと対比になるように意識しました。

案⑧



かんばいの由来である寒梅から、梅の花の鹿児島紅をモチーフに形をとりました。そのなかに鹿児島の桜島を背景にかんばいが進んでいく様子を表現しました。

案⑨



「寒梅」という言葉から和をイメージし、雲や波を和風にデザインしました。上に梅、中央に巡視船かんばい、下に波を配置することで見やすいよう余白を適度に残しています。
コンセプトは「海に咲く、守りの花」。巡視船かんばいを海に咲く花のように捉え、静かで凛とした強さを表現しました。

案⑩



「心強さ」
背景には梅を配置し、かんばいがこちらにまっすぐ迫ってくるような構図にすることで、高潔さと迫力を表現しました。梅には「忍耐」という花言葉があり、かんばいの名前に込められた「国民の笑顔や安全な日本の海を守るために、苦難や試練にじっと耐え、乗り越えていく」という意味に合っていると考えたためです。また、船の上部と下部には錨を配置しました。錨には「安全」や「希望」という意味があることから、かんばいが担う役割や願いを表現しています。